

編集後記

若い会員を中心に構成されてきた編集委員会にも高齢化の流れが、若くはない私にも小欄の担当が回ってきた。せっかくなので、同じように若くない会員向けの話でも記してみたい。介護の話。

「介護は突然に始まる」と言われる。私の場合、祖母の介護をしていた母が交通事故に遭うという形で、私が35歳の時に突然始まった。条件は人それぞれなので、一例をもって一般を論ずることは慎むべきだが、私の場合は研究職との親和性は高かったように思う。我が国の介護保険制度は大したもの、短期入所等のサービスを利用すれば海外出張にも行けたし、また介護休暇や裁量労働制により、収入面での影響も最小限であった。今ならテレワークも活用できるだろう。強いて言えば、逆にどれだけでも介護できてしまうという点が難点となる。自己を律してワークとライフの線引きを意識する必要はあるだろう。

そして、やってみると介護というもの、これが非常に面白い。老いた個体の世話をするという、他の動物ではまずあり得ない実に人間らしい営みであって、その面白さは筆舌に尽くせない。それに介護は意外にも単調ではない。研

究者にとって日々発生する新たな問題は、要するに興味の対象でしかなく、例えば夜間徘徊が生じた際は、ホームセンターの材料で離床センサーを自作したりもした。試作1号機では被介護者が解除法を学習してしまうというトラブルに見舞われたが、改良2号機では被接触の赤外線センサーを導入し解決した。自らの工夫が直に人間の笑顔に変わるわけで、こうなると50年後のエネルギー問題と一体どちらが?という程に面白い。偶々同時期に妻も自身の親の介護をしていた為、互いに協力して取り組めた。良き共同研究者の存在も重要である。

このように突然始まった介護生活も、私にとっては人生後半に彩りを与えてくれた貴重な経験となった。これから不安を抱えている会員諸氏も、必要以上に恐れることなく、もし親族の中で誰かがやらねばとなったなら、積極的に立候補してみても如何だろうか。

介護は必ずいつか終わる。介護が終わった今、街中で介護を頑張る人、コロナ禍にもめげず奮闘する医療・介護職の方々を見かけると、「ごくろうさま」と心中でエールを送りつつ、どこか羨ましくも仰ぎ見ている。(水口直紀)

プラズマ・核融合学会 役員

会 長：竹入康彦
副会長：安藤 晃 (推薦委員長：学会賞，研究部会連絡会委員長) 米田仁紀 (推薦委員長：研究助成，男女共同参画委員長)
常務理事：市口勝治 (総務委員長)
理 事：荒巻光利 (編集委員長) 出射 浩 大勢持光一 (財務委員長) 金子俊郎 (企画委員長)
木戸修一 兒玉了祐 小西哲之 白藤 立
花田鷹砂也 林 伸彦 (広報委員長) 藤田隆明 横峯健彦
渡邊隆行 (企業展示検討委員長，支部・地区研究連絡委員長) 和田 元 (年会運営委員長)
監 事：前田達志，立松芳典

プラズマ・核融合学会 領域長

プラズマ基礎 荒巻光利(日大) プラズマ応用 渡邊隆行(九大) 核融合プラズマ 藤田隆明(名大) プラズマ炉工学 小西哲之(京大)

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：荒巻光利(日大) 副委員長：出射 浩(九大)
エディタ：古閑一憲(九大)，比村治彦(京都工繊大)，波多野雄治(富山大)，重森啓介(阪大)，藤田隆明(名大)，村上定義(京大)
編集委員：安部勇輝(阪大)，諫山翔伍(九大)，板垣宏知(産総研)，井戸 毅(九大)，上野一磨(中京大)，占部継一郎(京大)，枝尾祐希(量研)，呉 準席(大阪公大)，大谷芳明(量研)，加藤雄人(東北大)，河村学思(核融合研)，小林政弘(核融合研)，近藤康太郎(量研)，佐久間一行(弓削商船高専)，佐藤直木(東大)，柴田崇統(高エネ研)，鈴木陽香(名大)，辻井直人(東大)，中村浩隆(阪大)，畑 昌育(量研)，藤原 大(NTT)，前山伸也(名大)，水口直紀(核融合研)，向井啓祐(京大)，本村大成(産総研)，森高外征雄(核融合研)，矢嶋美幸(核融合研)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第98巻第5号

編集・発行
〒464-0075 名古屋市中種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2022年(令和4年)5月25日
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspfor.jp URL: http://www.jspfor.jp/ 定価1,430円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。